

市政活動報告

良友会会報 あすなろ

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市府内町1-4-16 河電ビル3階303号室 電話番号 097-537-0556 FAX番号 097-533-9668

ご挨拶

東日本大震災から1年がたちました。原発事故が重くのしかかる中、被災地では未だに出口も方向性も見いだせていません。

台湾のある小学生が家族を失った日本の被災者に「家族を失ったと思わないでください。ここにわたしという家族がいるのですから」と手紙に書いて送りました。遠く離れた台湾の子どもですら、被災地の人々に家族としての絆の手を差し伸べてくれます。わたし達大分市民は家族の絆として、何を被災地の皆さんに届けばいいのでしょうか。

世界は産業革命以来の大量生産大量消費型の経済が新しい局面を迎え、東西冷戦終結後のパクスアメリカナ（米国による米国のための世界平和）もその終焉を迎えようとしています。また、国際金融やマネー市場が大混乱し、余剰となり流動化したマネーによる混乱は深刻さを増す一方です。しかも、日本政府は国民そっちのけで、永田町の中だけの勢力争いに終始しています。

大分市をとりまく厳しい社会環境を乗り越えていくためには、自治体経営の新しい在り方を含めて、中央統制型国家ではなく、地域主権と地域協働による協働統治型国家への道を模索して行かなくてはならないと、わたしは肝に銘じています。

来年2月には大分市議会選挙があります。また、色々とお願ひに上がりますが、何卒よろしくお願ひ致します。

井手口良一



3月14日総括質問致しました。

視点・論点・問題点

3月14日午後1時から、おおいた民主クラブを代表して総括質問をしました。

1. 市長の基本的な政治姿勢

①市制100周年を迎えて

新しく踏み出す次の100年を見据えてについて、遥か100年先の大分市を視野に入れた市長の思いとビジョンは？

釘宮市長答弁

これからの時代は、少子高齢化、環境やエネルギー問題、地方分権など、多くの課題が山積している。これらを克服していくためには、市民協働の精神のもと地域の課題は地域で解決するという、自主自立の地域社会の構築を目指していかなくてはならない。

その先にある、男女がお互いを尊重し安心して子どもを産み育てることのできる社会、すべての市民がふるさとに誇りを持って笑顔があふれる社会を見据え、「ともに築く、希望あふれる 元気都市」大分の実現に全力を傾注していきたい。

井手口の視点

城址公園の周りには樹齢100年を超すマツやクスの木があります。大分市が誕生して以来、中心部が灰燼に帰した第2次世界大戦を始め、すべての出来事をずっと見守ってきた貴重な木々を見上げながら、わたしはこのまちのこれまでの100年と、これからの100年に思いを馳せています。

②安心・安全のまちづくり

大分市民の生命財産を守るための大分市地域防災計画を今後どうしていくか？

釘宮市長答弁

地域防災計画の完成度と実効性を高めるため、今後とも計画立案と図上訓練や全市一斉の総合防災訓練などの実地訓練などの実施、個別計画や個別対応マニュアルを継続的に検証する点検とそれによる計画の改善というP D C Aサイクルを繰り返していく。
井手口の視点

新しい地域防災計画は、災害発生時の受援計画、避難所の避難所運営マニュアル、ペット類の保護対策計画、避難所外で生活する被災者への支援対策計画などが、新たに銘記され充実したものとなりました。

しかし、計画は所詮、計画です。大分市は1975年の大分県中部地震を除いて、近年における地震災害の経験がありません。大分市民にとっても市の担当者にとっても、大災害は歴史の彼方の物語でしかないのです。大分市の地域防災計画はこれからも、図上演習や実地訓練を繰り返し、想定に齟齬はないか、計画の運用に死角はないかということを徹底して検証していかななくてはなりません。

③市民協働とP I 手法

市民協働の前提となるP I の考え方によるまちづくり手法をどのように考えているか？

釘宮市長答弁

これまでもP I の考え方に基づく取り組みを進めてきたが、職員のさらなる意識改革を進めながら、これからも市民の皆様の市政参画意識を醸成するよう努めていきたい。

井手口の視点

市の方針決定や計画立案の際に、市民とともに意思形成を図るP I 手法は、市民協働と共に、新しい行政運営の基本です。

しかし、日本では長い間「依らしむべし、知らしむべからず」という考え方だったため、残念ながら大分市民も市の職員もまだまだP I の考え方や手法に不慣れですし、市民と行政の信頼関係もP I 型の



東西商店街を分断している現在の中央通り

意思疎通を図れる程には醸成されていません。

それでも、わたしは大分市は新しい行政運営、新しい公共経営の基本である、P I 方式でのまちづくりを目指すべきと考えています。

④中心市街地におけるまちづくり

市長の大分市中心市街地におけるまちづくりへの思いは？

釘宮市長答弁

大分駅の開業により、南北市街地が一体化し、併せて大分駅ビルや県立美術館など、集客力のある新たな魅力が次々と創出される中、既存商店街と大分駅ビルの相乗効果を発揮させ、賑わいと回遊性の向上を図ることが重要と考える。事業者や市民の皆さんと長期展望に立った幅広い論議を尽くし、個性と魅力にあふれる、県都大分の顔にふさわしい中心市



東上野口（旧南口）側から見た大分駅、もう裏駅とは言わせない。

街地のまちづくりを進めていく。

井手口の視点

市中心街の空洞化は市民共通の不安材料です。市中心市街地はわたしどもにとって、ふるさとの顔であり誇りでありつづけてきました。その顔でもあり誇りでもある市中心市街地が社会の変化や不況の影響とはいえ、寂れてしまうことを見過ごすわけにはいきません。

ただ、まちづくりはそこに住む人々、そこで生業を営む人々、そこに集い憩う人々自身が、各々に思いを結集して、作り上げていくべきものであると、わたしは考えます。

2. 地域経済浮揚策

①大分ブランドの展開

大分市がもっている大分ブランドのポテンシャルについて、どのように考えているか？

釘宮市長答弁

地域ブランド力の向上は、地域経済の振興はもとより、新たな地域活力にもつながるもので、都市間競争を左右する重要なファクターである。そのためにはまず、ふるさとを愛する市民の皆さんと、同じく大分市を愛する市職員がしっかりと手を取り合って、本市の地域資源に多彩な魅力や価値を付加していくことが肝要である。

井手口の視点

大分市6次産業化マッチングフェア2012や、田の



大分駅ビルのコンコースにあるニワトリの像、とり天や鶏めしは大分の味

浦ビーチにおける社会実験賑わい市などの地域経済振興策が、職員提案や市民協働によって実施されています。

それらの事業、さらには大友宗麟ブランド活用事業などの新しい展開そのものを、大分市の売り出すべき大分ブランドとして、あるいは情報発信の材料として、大いに発展させるべきと考えています。その大分ブランドですが、物品だけに限るのではなく、文化財、景観、イベントや賀来の市、浜の市、市内各地のお神楽などの民俗文化財、祭りなど行事に至るまで、創造し情報発信して大分市の活性化に結びつけるべきです。要は大分市民のふるさとへの愛着と誇りそのものが大分ブランドということだと、わたしは考えています。

②仮称「大分青年協力隊」の創設

大分青年協力隊を創設してはどうか？

釘宮市長答弁

職業観や社会貢献の意識をはぐくむこと的手段として有効と考えられることから、その主旨を踏まえ、本市における新たな就業支援策を検討していく。

井手口の視点

わたしの提唱する大分青年協力隊とは、市内在住の若い市民を募集し、市内の福祉・教育・農林水産関連の事業所などや各種イベントのスタッフなどとして派遣するものです。

隊員には臨時職員の給与の月額半額程度の活動費とボランティア保険加入費を提供し、一定期間ごとに研修などに参加させて、それぞれの任務に対する資質や能力の向上を図ります。活動満期終了時には、毎月臨時職員の給与の月額半額程度を積み立てておいたものを、活動期間に応じて自己啓発のための奨学資金として支給します。200人程度の規模の協力隊を創設し、財源は臨時職員の募集枠の一部を回すことなどで捻出することを考えています。

③仮称「大分市シニア協力隊」の創設

大分シニア協力隊を創設してはどうか？

釘宮市長答弁

急速な少子高齢化によって、労働力人口が減少していく中、元気で就労意欲のある高齢者の豊富な知

識や経験を生かした労働力の活用は社会全体が活力を維持していくうえで極めて重要であると考える。

大分市シニア協力隊についても、貴重な提言として受け止め、検討していきたい。

井手口の視点

この事業は60歳以上の大分市民から募集し、それぞれの職業・職場経験で培われた技術や経験別に、指導員として市内の企業・団体に派遣したり、就労支援や各種人生相談員として、市役所の各部署に配属するものです。

報酬は大分市の嘱託職員の給与・手当に準じたものとし、一期目は50人程度を募集してみてはどうかと提案しました。

所謂、団塊の世代が定年を迎え、年金生活に入ることが色々な角度から問題視されています。しかし、果たして団塊の世代の方々はこの国にとってのお荷物、厄介者でしょうか。わたしはそうは思いません。この世代は日本の高度経済成長をあらゆる面で支え、その中心的役割を果たしてきた世代です。そこに蓄積された技術や情報、社会人としての経験はまさに天然資源の少ない日本にとって、限りない可能性を秘めた資源だと、わたしは考えています。この貴重な人的資源を活用することは、大分市の地域経済にとっても効果を期待できる施策ではないでしょうか。

3. 学校施設の耐震化

校舎等の耐震化事業をさらに前倒しできないか？

教育長答弁

もっとも危険性の高い建物の耐震補強工事は平成22年度で完了し、建て替えが必要なものについても24年度中には完了する予定となっている。

残りの耐震化が必要な学校施設71棟については平成26年までに完了または着手することとしている。今後とも可能な限り、早期の完了を目指して全力で取り組んでいく。

井手口の視点

大分市にとって、この大分市の将来を託すべき子どもたちの命を守ることは至上命題です。それを速

やかに実効あるものにするためには、校舎の耐震工事は大分市の総力を挙げて、一日でも早く完成させるべきです。今後とも可能な限り前倒しを実現するように働きかけていきます。

4. 教育現場の防災

①通学路における登下校時の防災対策

登下校中の子どもたちの安全を保障する体制はどうなっているか？

教育長答弁

現在作成中の「大分市学校災害対策マニュアル」に具体的な登下校時の避難場所・避難方法、地域の方々や保護者との連累の在り方などを盛り込んで、登下校時の子どもの安全確保に努めたい。

井手口の視点

子どもたちの生活時間のうち、家庭にいる間、保護者の管理下にある間は、子どもたちの安全保障は保護者の責任下に置かれます。また、学校にいる間は学校現場の管理下にあり、子どもたちの安全を保障する責任は学校現場にあります。

そこで問題となるのが子どもたちが登下校時に通学路にいる間です。朝夕1時間として1日2時間、災害発生時と重なった場合の、こ子どもたちの状況把握と安全保障について、学校、子どもたち自身、保護者、地域の方々が確認しあう必要があるのではないのでしょうか。

②防災教育

防災教育の対象についてどのように考えているか？

教育長答弁

子どもが自ら危険を予測し、回避するための知識を身につけ、習得した知識に基づいて的確に判断し、迅速な行動をとることが重要であり、そのためには主体的に判断し、行動する態度を日頃から育成する必要がある。

そうした態度を身に付けた子どもが成長していけば、地域の一人ひとりが主体的に避難行動に移る姿勢を持つことが「文化」として醸成され、世代を超えて継承されることにより、地域に根付かせること

ができると考える。

井手口の視点

防災教育の重要性は単に子どもたち自身の自らの身を守るための、判断力と行動力を身につけさせるだけではありません。災害に遭遇した場合の迅速で沈着な行動力身につけさせることも、防災教育の重要な要素の一つですが、わたしはさらに、子どもたちを教育することによる波及効果、子どもたちのもちかえる防災教育情報を通じての、家庭における防災力の向上も視野に入れるべきと考えています。将来的に地域の全ての住民が誰でも防災リーダーとも言えるべき、自立した生活者になることをも合わせて視野に入れるべきなのです。

③避難訓練

学校現場における避難訓練に対する基本的な考え方は？

教育長答弁

子どもや教職員が災害発生時に臨機応変に対応できるよう、実勢的な避難訓練が求められている。事前通告なしの訓練など、さまざまな場面や事態を想定した避難訓練を実施するとともに、それを通して明らかになった課題や問題点を整理し、見直しを図ることによって、さらに実践的、効果的な避難訓練にしていきたい。

「かけがえのない子どもたちを守るために全ての力を」を合言葉として、学校・家庭・地域が連携して、教育現場における防災危機管理の一層の充実に努めていく。

井手口の視点

避難訓練は、いくつかの災害パターンを想定しながら、平常の生活の状況から避難行動や災害対策行動に移ることを前提とすべきです。間違っても消火訓練の際に、火元のすぐ横に消火器を持ってきてから、点火するなどというような訓練にならないようにしたいものです。

その上で図上訓練と実地訓練を通じて、常に問題点や盲点を洗い出し、改善すべきは改善して、次の訓練にそれを活かすPDCAサイクルの考え方に立った避難訓練を提唱しました。



平成24年議員提案議案第1号「議員定数を42人にする条例改正案」について

わたしは福崎智幸さん、衛藤良憲さん、早川和人さん、堀嘉徳さん、小野仁志さんら6名と共同して、議員定数を42人にするという議員定数条例改正案を提案しました。

本市の議員定数を定める条例を見直すことは、市民の皆様から指摘されたことに議会が応えようとしたことから始まりました。議会運営委員会からの諮問を受ける形で、わたしもメンバーになっています議会活性化推進会議で長期にわたって論議してきました。

結局、議会活性化推進会議では結論を出すことができず、42議席案と44議席案の両論併記の形で議会運営委員会に答申しましたことにつきましては、大変遺憾に感じており、活性化推進会議のメンバーの一人として市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

議会運営委員会では2案の内、42議席案4人、44議席案4人の同数となり、委員会条例の規定により、自由民主党から選出されている長田議会運営委員長によって44議席案が議決されました。

しかしながら、それぞれの案に賛成した委員の所属する会派の議員数を見ますと、44議席案に賛成した自由民主党と日本共産党の会派構成数の合計は20名であり、42議席案に賛成した社民クラブ、新市民クラブ、公明党の3会派の構成数の合計に、議会運営委員会に委員を出すことのできない、おおいた民主クラブと無所属議員の内、今回、この議案を共同提案いたしました議員を合わせた数は25名となり、議員総数の過半数になります。わたしはそのことを見過ごすことはできませんでした。

議会の見識と良識を市民の皆さんに見て頂くため、構成する議員一人ひとりの見識と良識による採決を期待していましたが、結局、社民クラブと公明党が44議席案側にまわり、42議席案に賛成したのは我々提案者6人を除くと3人だけでした。

東日本大震災被災地のがれき処理問題こそ、地域主権拡大のための自治体間連携の課題だと考えています。国の対応は遅々として進んでいませんし、安全基準についても国は国民の信頼を失っています。だからこそ、基礎自治体が連携してこの問題に正面からあたり、国に対して地方の底力を見せつけるべきだとわたしは考えます。今こそ、国に言われてやるのではなく、地方が地方自治体同士の連帯と連携によって、知恵を出し合い、瓦れきを受け入れるべきと考えています。

わたしの提案とは全国市長会または中核市市長会で仮称「広域がれき処理連合」を結成することです。放射能だけでなく、アスベスト、PCBなどについても独自に安全基準をこの連合体自身で設定し、測定も自分たちで行い、自分たちで厳正に安全を確認したのがれきを、それぞれの地域性や自治体としての受け入れ体制に合わせて受け入れるのです。大分市は可燃物の焼却処分が受け入れ可能です。

もちろん、大分市民の生命財産を守ることが大分市政の基本的存在意義ですから、今後とも厳重な監視体制は必要です。いち早くその体制を確立している大分市だからこそ、わたしは安心して、日本中が家族であるという認識のもとに、今議会で大分市が全国の基礎自治体の先頭に立って、被災地への連帯の意思を示すべきと提案しました。

議員活動報告

(1月1日～3月31日)

1月

- 5日(木) 大分市公設市場初セリ式
- 7日(土) 豊府校区新年互礼会
- 8日(日) 大分市消防出初式
- 11日(水) 議会政策研究会役員会
- 12日(木) 自治基本条例検討委員会
- 13日(金) 議会活性化推進会議
市民相談(陳情)
- 16日(月) 都市交通問題特別委員会
総務常任委員会
- 19日(木) 認可保育園関係者情報交換会
- 21日(土) 渡辺孝之宮城県東松島小学校教諭講演会

- 23日(月)～25日(水)
広報委員会行政視察(愛知県豊田市・千葉県流山市・柏市)
- 27日(金) 自治基本条例検討委員会
議会活性化推進会議

2月

- 1日(水) 彦根市議会議会運営委員会視察対応
- 2日(木) 堺市議会議会運営委員会視察対応
- 3日(金) 議会活性化推進会議
- 8日(水)～9日(木)
会派政務調査視察(島根県出雲市)
ゴミ収集業務有料化事業
- 10日(金) 広報委員会
議会活性化推進会議
市民相談(大分県薬剤師会)
- 13日(月) 議会運営委員会傍聴
- 17日(金) 由布大分環境衛生組合定例議会
- 20日(月) 総務常任委員会
お出かけ市長室(来賓出席)
府内次世代フォーラム
- 21日(火) 議会活性化推進会議
市民相談(陳情)
- 24日(金) 議会活性化推進会議
議会・市長部局幹部情報交換会
- 27日(月) 議会活性化推進会議
議会運営委員会(傍聴)
議員全員協議会
- 29日(水) 広報委員会

3月

- 1日(木) 議会運営委員会(傍聴)
市民相談
- 2日(金) 上野ヶ丘中学校卒業式(来賓出席)
議会活性化推進会議
防災講演会聴講
- 4日(日) 社会実験「田の浦賑わい市場」視察
- 5日(月)～26日(月)
平成24年第1回定例議会
- 10日(土) 大分市公設市場開放日視察
- 14日(水) 活性化推進会議
- 17日(土) 市民相談(ゴミ収集問題)
- 23日(金) 議員政策研究会役員会
- 26日(月) 会派代表者会議
議員全員協議会
- 27日(火) 市民相談
- 28日(水) 広報委員会
市民相談

この会報はワークスペース「樫の木」、小規模作業所「どんぐりの家」の皆さんに、折り加工と封入作業をお願いしています。

3月26日の議会最終日、大分市議会の議員定数が採決され、次回の選挙から44人となることが決まった。足かけ3年もの長い時間をかけて論議を続け、井手口議員が言うところの大分市議会の見識と良識によって出した結論は結局2名減という、お茶を濁したに過ぎないものだった。

もともと、市民意見交換会の複数の会場で多くの参加者から「議員を減らせ」という意見が出たことから、議会内に設置された議会活性化推進会議で定数について論議することになったのだが、残念ながら市民の会場での不満の声も長続きはせず、興味も失われた頃、それを待っていたかのような議決だった。

今回、注目したのは井手口議員の所属するおおいた民主クラブと無所属の若い議員3人が連名で、定数を42人とする改正案を提出したことだ。その6人は決して選挙に強い議員ばかりでなく、むしろ当選ラインぎりぎりとも言える議員が多い。それでも活性化推進会議の論議の中での多数派の意見だった42人を主張し、議案提出にこぎつけた。彼らの見識の高さを感じないわけにはいかない。

議会運営委員会では42人に賛同していた社民クラブと公明党が、市民の思いより議会運営の都合を優先して44人側に回ったため、賛成者数9人という惨敗になったが、筋を通した彼らと、市民の意見より政局を優先する政治家の、どちらを市民が信頼するかを示す大分市議会議員選挙は来年2月に迫っている。

都町次郎

編集者より

都町次郎は特定の個人のペンネームではありません。複数のジャーナリストによるリレーコラムのための架空の人物です。市政の裏話や歯に衣着せぬ批評をお願いしています。

後援会などの活動日誌

(1月1日～3月31日)

1月

- 6日(金) 連合大分新年互礼会
舞鶴会
- 8日(日) 空手道士道館大分県支部寒げいこ(護国神社)
- 14日(土) ばん友会新年互礼会
- 15日(日) 川合孝典参議院議員国政報告会
旭化成グループ労組新年互礼会
- 28日(土) 良友会拡大幹事会新年互礼会
- 29日(日) 大友鉄砲隊演武式

2月

- 4日(土) ITCスピーチコンテスト審査員
UIゼンセン同盟県支部運営評議会
一七会幹事会
- 5日(日) 白沢史子音楽教室発表会
- 15日(水) 市役所一七会歓送会
- 17日(金) 市役所南小会歓送会
- 23日(木) 22会月例会
- 24日(金) フジボウ労組執行委員会
- 25日(土)～26日(日)
UIゼンセン同盟全国議員団会議
- 28日(火) TPP問題講演会聴講

3月

- 4日(日) 詩誌「心象」編集会議・合評会
UIゼンセン同盟OB友の会役員会
UIゼンセン同盟政治研究フォーラム
- 7日(水) 野分け会月例会
- 8日(木) 舞鶴高校剣道部・硬式テニス部激励会
- 11日(日) OBS主催防災講演会聴講
- 15日(木) サウダージの会
防災ワークショップ
- 17日(土) なごみ庵運営評議会
一七会幹事会
- 20日(火) 大分県詩人協会役員会
- 28日(水) まちづくりシンポジウム



平成24年度大分市一般会計当初予算

大分市の予算をあなたの家計と比べたら

(収入篇)

項 目	予 算 額 (百万円)	あなたの家計 (円)
大分市の一般会計／自主財源の合計 あなたの家計／給料などの収入の合計	89,123,159	5,000,000
内訳		
市税収入 本業からの収入	75,617,042	4,242,278
財産収入・使用料・手数料 預金利子や持ち家からの家賃などの収入	3,071,272	172,305
分担金・負担金 近所の共同作業などの実費分や謝礼など	2,173,464	121,936
繰入金 副業からの収入	2,057,025	115,404
その他の収入や繰越金 臨時収入など	6,204,356	348,078
大分市の依存財源の合計(市債分を除く) あなたの家計なら親からなどの仕送りや援助などです	59,489,041	3,337,463
内訳		
地方交付税 親からの生活費援助のための仕送り	11,500,000	645,175
交付金・譲与税など 親の収入の内的一定割合の分与・仕送り	7,552,000	423,683
国・県支出金 共同の事業などへの親兄弟の分担分	40,437,041	2,268,605
市債(大分市の借金) あなたの家庭のローンや月賦などの借入金	25,857,800	1,450,678
収入と新たな借金の合計	174,470,000	9,788,140

(支出篇)

項 目	予 算 額 (百万円)	あなたの家計 (円)
大分市の一般会計／義務的経費の合計 あなたの家計での必要経費の合計	109,620,256	5,674,263
内訳		
人件費(市役所職員の給料など) ヘルパーさんや家庭教師などへの支払	30,738,872	1,591,133
扶助費 生活費、医療費や社会保険料など	44,292,523	2,292,710
公債費 ローンの返済や月賦の支払いなど	22,293,005	1,153,951
繰出金 副業への出資や経費補填など	12,295,856	636,469
普通建設事業費 住宅や住宅周辺の建設や補修費など	30,987,956	1,604,027
維持補修費 住宅やその周囲の補修など	1,740,601	90,099
物件費 家財道具や日用品などの購入やその補修費など	15,068,732	780,001
補助費など お見舞い・お付き合い経費など	12,851,386	665,225
貸付金 知人への貸付	3,268,680	169,196
投資・出資金 株式などへの投資	561,435	29,062
積立金 積み立て預金など	60,954	3,155
予備費と災害復旧費	310,000	16,046
支出の合計	174,470,000	9,031,075

500万円の収入のお宅で900万円の支出を続けていけばどうなるのかは自明です。それも絶対に支出しなくてはならない必要経費だけでも、約70万円の赤字なのです。さらにこれから、高齢化社会と道路や公共施設の下部構造の更新期を同時に迎え、厳しさは増すばかりです。

会費納入の御礼と会員拡大のお願い

今年も多くの皆様から会費を納入していただいています。本当にありがとうございます。少しでも多くの市民の皆様にはわたしの考え方や活動を知っていただきたくため、あすなろをお届けできる方をご紹介します。よろしくお願い致します。

会費納入のための口座番号

大分銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 5036576

豊和銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 1035694

ゆうちょ銀行 「いでぐち良一後援会」良友会 17290-12491381

会費 一般会員 (年間・1口) 1,000円

賛助会員 (年間・1口) 10,000円

良友会事務所

大分市府内町1-4-16-303号

(御用の際は予めお電話ください)

☎ 097-537-0556

Fax 097-533-9668

ホームページ

<http://www.bocra21.jp>

ブログ

<http://www.bocra21.jp/blog/>

ツイッター

<http://twitter.com/bocra>

フェイスブック

<http://ja-jp.facebook.com/>

議会での質問の詳しい内容や映像をご覧になりたい方は大分市議会のホームページ

<http://www3.city.oita.oita.jp/kaigiroku/>

編集後記

今回もまた、2週間遅れとなりました。申し訳ありません。時間のたつのは速いもので、うかうかしている間に4期目の任期も最後の年となりました。何卒、変わらぬご理解とご支援をお願い致します。(I)